



# 国水研だより

NATIONAL INSTITUTE FOR MINAMATA DISEASE

No. 7  
'00 8月号

目 次	研究センターの動き	2
	特殊廃液処理施設竣工式	2
	もやい直し巡回展	3
	水俣病経験の普及啓発セミナー報告	3
	海外見聞録	4
	業務紹介	5

職員紹介	6
毛髪水銀調査結果報告	7
外部評価	7
R R Bだより	7
水銀のはなし	8



## 21世紀への特殊廃液処理施設

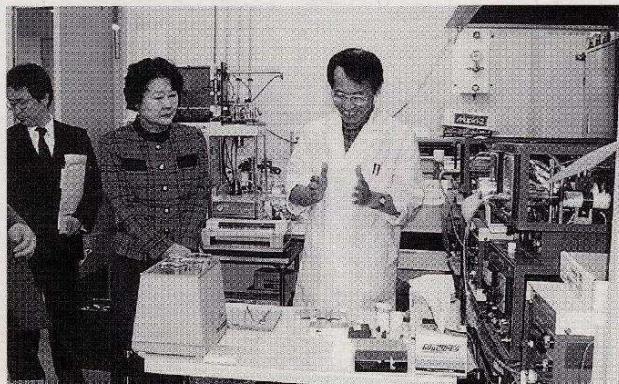
基礎研究部長 中野篤浩

昨年創立20周年を迎えた国立水俣病総合研究センターにおいて、研究室内での実験は大きな業務の一つになっています。実験には、水銀などの重金属やベンゼン、クロロホルムなどの有機溶媒を使いますから、実験廃液の処理には細心の注意が必要になります。これまでセンター敷地内の「特殊廃液処理施設」で、実験廃液に含まれる様々な有害物質を水質汚濁防止法で定められた規制値以下になるまで取り除いてきました。しかしながら、築後20年を経過した処理施設は老朽化が著しく、研究活動の拡大・充実をも伴い、その処理能力は限界に近づいてきていました。このように研究業務に支障を及ぼしかねない状況に至っていたところ、平成10年度の第三次補正予算において、新たな特殊廃液処理施設の整備を措置することができました。実験廃液の処理の方法にはいくつかの方式があり、新施設でどの方式を採用するかについては、所内に検討委員会を設置し、北は秋田大学から南は琉球大学までの施設見学を行った上で慎重に検討を重ねてまいりました。その結果、廃液や固体廃棄物の種類毎に5つの処理ユニットからなる施設の設立を決め、平成11年11月に着工し、翌12年3月末に完成の運びとなりました。現在、新システムのもとに、実験廃液や固体廃棄物は11種類に分別され、新処理施設で無害化処理が行われています。特に水銀に関しては、処理廃水および固体廃棄物燃焼時の排煙とも連続的にモニターされ、僅かなりとも外部には洩らすまじの態勢がとられています。更に、水銀、カドミウム、鉛等の重要な12項目を毎月一回、これにPCBや四塩化炭素等を加えて25項目を年に一回、外部機関による厳格な検査を受けることになっています。この最新式の高度処理能力を備えた施設を効率的に運用してゆくために、研究者達は、全国一といわれる水俣市のゴミ分別作業にも匹敵しそうな、廃液の分別回収を徹底していかねばなりません。これから20~30年後、第3世代の施設ができる時には、技術が進歩し、分別作業の不要な一括処理方式の時代になってもらいたいものです。

# 研究センターの動き

11月4日(木)  
水俣病情報センター(仮称)建設委員会展示小委員会  
11月22日(月)  
民主党議員団がセンターを視察  
12月4日(土)  
第11回水俣病に関する社会科学的研究会(報告書受理)  
12月15日(水)  
第3回水俣水銀国際会議組織委員会  
12月22日(水)  
水俣病情報センター(仮称)建設委員会ネットワーク小委員会  
2月18日(金)  
水俣病情報センター(仮称)着工  
2月22日(水)  
第4回水俣水銀国際会議組織委員会

2月27日(日)  
もやい直し巡回展(芦北町大岩地区)  
2月28日(月)  
国立水俣病総合研究センター研究評価委員会  
3月10日(金)  
国立水俣病総合研究センター機関評価委員会  
4月11日(火)  
特殊廃液処理施設竣工式  
4月14日(金)  
広中 和歌子 元環境庁長官がセンターを視察  
5月1日(月)  
清水 嘉与子 環境庁長官がセンターを視察  
7月11日(火)  
第5回水俣水銀国際会議組織委員会



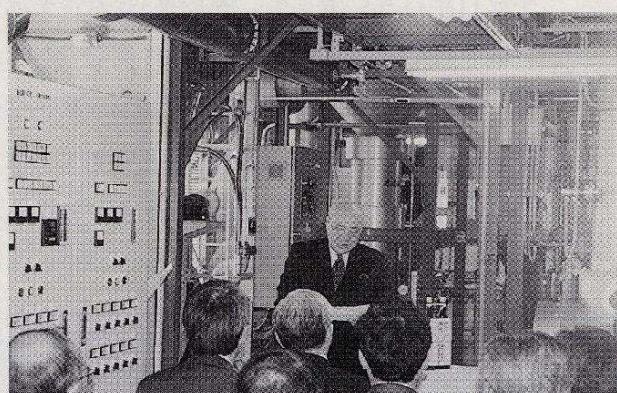
センター職員（安武室長）の説明を受ける広中元環境庁長官

臨床部リハビリ室で職員（臼杵室長）の説明を受ける  
清水長官（中央）と潮谷知事（左）

## 特殊廃液処理施設 竣工式

平成10年度第3次補正予算で設置が認められた特殊廃液処理施設が完成し、4月11日（火）に、九州地方建設局熊本営繕工事事務所長、水俣保健所長、環境庁特殊疾病対策室長ほかのご臨席の下、肃々と竣工式を行いました。本施設は、既存の施設の老朽化が著しかったこと、研究活動の充実に伴い実験廃液が増えたこと、排水基準が厳しくなったこと

から、建て替えたものです。新しい施設ができたことで、憂いなく、ますます研究に力を入れていきたいと考えています。



特殊廃液処理施設竣工式

# 「もやい直し巡回展」

in 大岩

▶ 水俣病の経験を語る 杉本栄子さん

第2回もやい直し巡回展が平成12年2月27日に「もやい祭り」の一環として行われました。場所は国道3号線の佐敷から山道を15分ほど入りこんだところにある大岩という地区です。快晴でしたがまだまだ寒く、おまけに小学校の体育馆ということもあります。たく

さんのストーブが準備されていました。大岩小学校の全校生徒による歌やリズム体操の披露によって祭りがスタートし、バザーや露店、カラオケやグラウンドゴルフなどのお祭りの中に、杉本栄子さんの熱の入った講演や音楽療法の実演、水俣病に関するパネルや福祉用具の展示など盛りだくさんでした。当センターは水俣病や研究業務に関する展示と、前回と同じく毛髪の水銀値測定を希望された方には毛髪採取を行いました（測定結果は後日、本人にお送りしました）。



国水研ブース

## 日本・中国水俣病経験の普及啓発セミナー報告

国際・総合研究部

保田 叔昭



セミナーの参加者達

平成12年3月24日、中国・北京市にある中日友好環境保護センターで表題のセミナーが開かれました。これは環境庁の委託で(財)水と緑の惑星保全機構が相手国の協力のもとに主催するもので、インドネシア、フィリピン、タイに続いて今回は4回目になります。開催の趣旨は、水俣病の体験と教訓を、患者、支援団体、市民、行政、研究者の立場から紹介し、公害発生を未然に防ぐことの重要性を開発途上国の人々に伝えることがあります。今回はこれまで最も多い300名に迫る参加者を得て活発な討論が展開されました。

演者として日本から参加したのは、水俣病患者の立場からは上野エイ子さん、患者支援団体代表とし

て佐々木清登さん、水俣市民の立場で青年会議所の宮島正英さんでした。行政からは、環境庁特殊疾病対策室、熊本県水俣病対策課そして水俣市助役が加わり、また明治大学教授の新美育文さん、国水研からは筆者が参加しました。

中国側からは、中国国内における水銀汚染の現状、松花江で過去に水俣病が発生したこと、貴州省で現在も稼働しているアセトアルデヒド工場による水銀汚染や、水銀鉱山の汚染問題の発表がありました。

総じて中国の行政担当者の環境保護意識は高く、次々と大胆な環境改善策が打ち出されているのが印象的でした。水銀汚染についても水俣病の経験を勉強させてもらったおかげで被害を最小限に抑えることができたという趣旨の発言を随所で聞きました。

帰国後は、水俣市長への報告につづき、去る6月6日にもやい館において市民への報告会を開きました。

最後に、今回のセミナー成功には、昨年5月に中国・秦皇島市で水俣市および水俣市民有志主導の「水俣病環境問題シンポジウム」(本誌第6号参照)を開催していたことが大きく貢献したという印象を強く持ちました。あらためて関係各位にお礼の意を表明させていただきます。

## 海外見聞録

### バングラデシュ人民共和国見聞録

基礎研究部 荒巻 亮二

私たちはバングラデシュ第二の都市チッタゴン郊外の化学コンビナート工場跡地周辺での第3回水銀汚染調査の為、この2月に約2週間の日程で行ってきました。現地の汚染状況等については、以前（国水研だより第4号）紹介しておりますので、今回は気軽な旅行記、といった感じで紹介したいと思います。

バングラデシュ人民共和国は、インドとミャンマー連邦に挟まれ、ベンガル湾に面した建国二十数年の比較的新しい国で、旧国名東パキスタンといった方が年輩の方にはわかりやすいかと思われます。日本の40%程度の面積の土地に約1億人の人口という、世界でも指折りの高人口密度国です。国民のほとんどが回教徒で、他に10%程度のヒンズー教徒とわずかな仏教徒といったところです。2月の現地は乾季で、日本の9月ぐらいの感じで日差しは強いのですが、日陰に入ると涼しくとても気持ちいい気候でした。現地ではコンビナート内のゲストハウス（名前はよかったですですが・・・）に滞在すること

になりました。そこで3食昼寝付き（現地の人達は正午から2時まで昼休みになります）で宿泊しましたが、毎日毎回同じ食事が出て閉口しました。内容は、ご飯と肉入りカレー、野菜カレー、魚カレー等がそれぞれ大皿に入れてあり、ご飯に好きなカレーをかけて食べます。辛いカレー、甘いカレーいろいろです。朝はそれにナンがつきます。ご飯は日本米ともタイ米とも異なり、パサパサしてはいるものの、カレーにはよく合います。

私達が接した街の人々の多くは温厚で親切でした。町を歩いている人達のほとんどは男性で、その多くがスカートのような腰巻のようなものを着けており、また裸足の人も多く見かけました。市民の足は、ほとんどがリキシャ（日本にも昔あったりんたく）、オートリキシャ（オート三輪のりんたく）とバスです。バスには定員の制限がないらしく、屋根の上にも人がたくさん乗っているのを見かけ、よく落ちないなあと感心させられます。また、走っている乗用車類はなぜか日本のT社のものばかりです。都市部には交通信号がありますが、ほとんどの車が信号無視。また郊外に出ると、速度制限もないらしく、一般道路を百キロ以上の猛スピードで、抜きつ抜かれつのレースまがいの状態となります。私達が乗ったタクシーも対向車と「あわや正面衝突！」の場面が数え切れないぐらいあり、よくぞ無事に帰れたなあと思う今日このごろです。

### 貴陽を訪問して

国際・総合研究部 新垣たずさ

ぽかぽかと暖かい午後、一面に広がる菜の花畑の中で昼寝を楽しむ親子、水浴びをする牛という風景は、コントロールポイントを下見するため訪れた貴陽市郊外のブイ族の村にありました。時計を気にしながら生活している私にとってはほっとした瞬間でした。

これまでの国水研だより（1号、3号）による私の貴州省のイメージは、大気汚染、水質汚濁といった環境問題を抱え、経済的にも貧しい地域というものでした。事実1998年の調査統計によると最も貧しい貴州省と最も豊かな上海市の国内総生産の格差は12.2倍に達しているということでした（平成12年6月20日 日本経済新聞より）。

しかし貴陽市内の繁華街で目を疑ったものは、建設中の巨大ビルや厚底の靴を履いている女性、携帯電話を片手に道行く人たちでした。中国における携帯電話の普及は、インフラ整備の遅れが主な要因だ



日なたぼっこをする村人たち

と言われていますが、民族衣装を着た少数民族の人々とすれ違うたび、タイムスリップしたような日本とは違う時間の流れを感じずにはいられませんでした。

昨年から中国政府は西部地域（四川省やチベット自治区など）の重点開発戦略「西部大開発戦略」を打ち出し、東部地域と西部地域との経済格差の是正に取り組みはじめました。この地域には、中国の少数民族の約7割、3億人以上の人々が居住しています。当研究センターと共同研究を進めている貴州省もこの地域に含まれ、豊富な地下資源（ボーキサイトや

水銀など)を活かすため産業基盤の整備が積極的に進められています。同時に鉱物資源開発や工業化による水質汚染や土壌の流出が懸念されています。

国を挙げての大規模開発は、日本の高度経済成長

とは比べものにならない規模と速さで進んでいます。日本の経験と技術が「後発の理」として活かされ、環境に配慮し、「持続可能な発展」の場となることを願いました。

## こんな事をしています 業務紹介

### 生まれて来る赤ちゃんは 男の子? 女の子? かつて水俣では?

疫学研究部調査室長 坂本 峰至

赤ちゃんが出来て、無事出産し、次に気になることと言えば生まれてきた赤ちゃんが男の子なのか女の子なのかという事でしょう。個人では、女の子だけ4人とか、男の子だけ3人とかどちらかに偏っている場合も多々見うけられます。でも、例えば小学校や中学校のクラスのようにある程度の大きさの集団になってしまふと、男女の数はほぼ同数となります。フォーク・ダンスでも男女のどちらかが圧倒的に多ければ、はみ出す人が多くて大変ですからね。熊本県や日本全体でみると大体女の子100人に対して男の子106人が生まれることになっています。

ところで、最近、生まれるときの男女の比が化学物質などの影響で変わってきているのではないかということが注目されてきています。実際に、イタリアのセベソでは農薬工場の爆破事故でダイオキシンを大量に浴びた夫婦からは女の子しか生まれなかつたという報告がなされています。そこで、私は公害の原点とも言える“水俣病”で、そんなことが起っていたら大変だと考え、水俣病が発生する以前からの出生票に書いてある項目を使って解析をしてみました。これらはかつての疫学研究部の先輩方が集めておいてくれた貴重な資料です。その結果、メチル水銀汚染が最も激しく、胎児性水俣病患者が発生した昭和30年から34年の5年間に男の子より女の子が多く生まれていたのです。さらに、魚を沢山食べてメチル水銀を多く摂取した漁民や母親が水俣病認定患者ではよりいっそう男の子の比が小さくなっていました。漁民や水俣病認定患者だけでなく水俣市全体でも生まれてきた男の子が女の子より少なかったということは、当時水俣市でいかに広域で激しいメチル水銀の汚染があったということを物語っており、本当に出てきた結果に愕然とさせられました。

### 生殖細胞とメチル水銀

基礎研究部病理室長 桑名 貴

私の研究しているのは生殖細胞(時として生殖系列の細胞とも言われる)の中でも最も若い細胞で、私たちの仲間では「始原生殖細胞」と呼ばれる細胞です。

受精卵から出発した胎児の体の中には、既にこの胎児が成長して大人になったときの精子や卵子の元になる始原生殖細胞(しげんせいしょくさいぼう)ができます。この始原生殖細胞からできる精子や卵子が一つになって(受精して)次の世代を担っていくため、私たちの体の中でもとりわけ重要な意味合いを持った細胞だと考えられています。

私はこのような生殖系列細胞に対するメチル水銀影響が無いことを検定する方法を、4人の特別研究員、研究室にいる他のスタッフの方たちと一緒に、実験動物を用いて研究し開発しようとしています。具体的には、「メチル水銀による生殖毒性影響に関する実験研究」で、胎児の体内から始原生殖細胞をいったん試験管内に採り出して、この始原生殖細胞だけにメチル水銀処理をしてから全く何も処理をしていない胎児に細胞を戻し、母体や胎児に対するメチル水銀の毒性影響の二次、三次的影響を受けることなしに純粋に生殖系列細胞だけに対するメチル水銀影響を検定できる方法ができると考えています。「新しい実験動物創出に関する基盤研究」では、生体内で生じる有機水銀分解過程がどの様な遺伝子によって具体的に制御されているのかを研究するためのモデル実験動物を遺伝子操作によって新しく創り出そうとしています。「生殖巣キメラによる異種間個体増殖法の基盤技術開発」では研究センターで今まで開発してきた発生工学的技術を用いて稀少野生動物種を増殖させるための手段を開発しようとするもので、この研究を通じてメチル水銀による発生毒性影響に関する研究に役立つ多くの新しい技術が開発できるものと期待しています。

## 職員紹介



総務課（庶務係長）

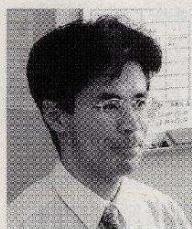
**藤田 佳久**

—プロフィール—

昭和42年生まれ。神奈川県出身。  
青山学院大学法学部卒  
趣味：温泉、旅行、食べること

昨年4月に異動してきて早1年がたちました。そして公害問題についてそれなりの思いを胸に環境庁に入庁して10周年を水俣で迎えることとなりました。水俣病については、小学生の時に少年向け年鑑に記事があって、それが強烈に頭に残っています。また、環境庁でも保健企画課等で多少なりとも関係する業務に携わったこともあり、この地で仕事をすることとなったことで改めて初心に返る思いです。

少しでも現場に近い仕事がしたい、地方勤務をするなら子供が小さいうちにという人事希望を出し、その点は叶えられたわけですが、これまで激務の部署が多くだったので、密かに地方勤務なら少しは楽ができるかなと思っていたのですが、果たして、水俣



総務課（経理係長）

**山下 哲也**

—プロフィール—

昭和43年生まれ。熊本県八代郡坂本村出身。熊本大学法学部卒  
趣味：サッカー

一昨年の6月に転勤して来てから早いもので2年が経とうとしています。

私は、元々大蔵省の九州財務局に採用され、国有財産の管理処分業務や財政投融資制度の中で地方自治体に対し資金運用部資金を貸付ける業務などを行ってきました。この度縁あって環境庁に出向となり、国水研で経理係長として勤務させていただいているわけあります。

財務局の先輩である前任者から、「激務だけど頑張って」という非情な引継を受けビクビクした気持ちで初登庁したのが思い出されます。実際経理係長として勤務してみてどうかというと、噂に違わず期待通りの忙しさでした。予算要求から契約、支払、物品管理、施設管理と業務は盛り沢山で、さらには平成10年度補正予算において水俣病情報センター（仮称）と特殊廃液処理施設の施設整備が認められ

水銀国際会議や情報センター（仮称）の仕事など、これほど大変な職場とは思いませんでした。また、庶務係というとこれまで雑用仕事かなと少々馬鹿にしていたところもありましたが、いざ、自分がなってみると、何が大変なのかというと説明が難しいのですが、一つ一つの事の重みを痛感している毎日です。

そんな大変な毎日ですが、魚を食べていれば幸せという自分にとっては、新鮮な魚が食べられることは嬉しい限りです（特に太刀魚の刺身は絶品！）。そして、何より温泉好きの私にとっては、このあたりの温泉の多さは感激です。毎週末には妻子をそそのかして一緒に温泉巡りをしています（数えてみると1年ちょっとで48湯に入っていました）。そんな中でも湯の鬼・湯の鶴の温泉はそれぞれ趣があって素敵なお湯だと思います。

こんな私ですが、微力ながら精一杯頑張っていきますので、これからもよろしくお願ひします。

てしまい、毎日がパニック状態でした。しかしながら状態の中、経理係のスタッフをはじめとして色々な方に助けていただいたことは、本当に有り難かったです。

ところで経理係は、予算執行を一手に握っていますので各部署からの相談事も多く、国水研の様々なことに関わることになります。最初のうちはただでさえ忙しいのに勘弁してほしいという気持ちでしたが、今になってみると国水研の核心部分に若干なりとも触れることが出来て、本当に良い勉強をさせてもらったなと思っています。

国水研全体に関しては、情報センターの運営、水銀国際会議、研究企画等今後の研究センターの方向性に大きく関わる課題に直面しています。事柄の重要性を認識してそれぞれの案件について国水研全体で考えていくことが必要だという気がします。研究業務が重要なのはもちろんですが、国際貢献・情報発信というもう一本の柱も国水研にとって今後ますます重要なしていくと思われます。スタッフが少なく本当に大変ですが、職員の皆様の更なる奮起を期待したいと思います。

（編集部注：7月1日付で九州財務局へ転出）

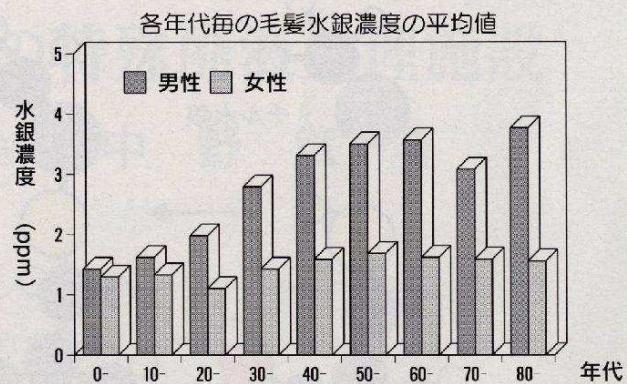
## 水俣市民の毛髪水銀濃度 －毛髪水銀調査結果報告－

毛髪に含まれる水銀が、体に取込まれたメチル水銀の量を知るためのとても良いマーカーであることはご存知かと思います。センターでは、「汚染」という概念から離れて、日本人の平均的な毛髪水銀濃度を把握するための仕事を昨年度からスタートさせました。手始めとして、今年の春、水俣市内のいくつかの美容院、理髪店にお願いしてお客様の髪の毛を集めていただき、その水銀濃度を測定しました。みなさまのご協力で、1000人余りの方々から毛髪を提供していただき、最近やっと、すべての測定値が出そろいました。結果は下のグラフの通りです。グラフについて、少し説明してみましょう。年代による変化は男性の方ではっきりしていて、10歳代から、20、30、40歳代にかけて増え続けますがその後は大体安定しています。魚を食べる量と関係しているのではないかと考えられますので、現在、アンケートの内容と比較しながら解析しているところです。ところが、女性の方では、年代による変化がほとんどありません。同時に実施したアンケート調査の内容をみると、20歳代からは、ほとんどの女性の方がパーマあるいは毛染めをしておられます。はっきりした

数値は出ていませんが、そのような処理に使う薬液で毛髪の水銀が一部除かれるのは確かです。おそらく、女性のグラフも男性と同じような年代毎の変化をするはずなのでしょうが、パーマや毛染めで少し減ったためにその変化がなくなった、と考えられそうです。パーマや毛染めの影響をもう少し詳しく調べるために、現在いくつかの実験をしています。今回の水俣の値が他の地域に比べてどうなのか。それは今後の全国調査を待たないといけませんが、少なくとも過去の汚染のなごりはなさそうです。

最後に、今回の調査でお世話になった美容院、理髪店の方々、そして毛髪を提供していただいた皆様にこの場を借りて感謝の気持ちを述べさせていただきます。

(毛髪水銀調査グループ)



- ・国際貢献については高く評価できる。今後ともこれをよりいっそう推進してゆくとともに、先進国との共同研究にも取り組んでほしい。

センターでは現在、これを受けて研究体制の強化と最重要課題の選定に取り組んでいます。皆様のご期待にこたえることができるよう、今後とも全力で取り組んでまいりますので、ぜひともお力添えを賜りたいと考えております。

## RRBだより

昨年の台風18号の被害から本年3月初旬に復旧致しました。4月14日には広中和歌子元大臣及び5月1日には清水嘉与子大臣のご来訪を受けました。展示パネルも新調しましたので、皆様のご来訪をお待ちしております。

## 一 外 部 評 価 一

平成12年の2月、3月に、外部委員による初めての研究評価と機関評価が実施され、以下の指摘がありました。

- ・現在の研究の水準は玉石混交であるが、全体として国際レベルのジャーナルに掲載された原著論文が少ない。しかし、水俣病患者からしか得られない結果も多く、今後いっそうの活動が期待される。
- ・研究を効率よく進めるため、部門間や外部機関との共同研究など、研究の組織化を図るべきである。現状に合った組織再編を考えるべきではないか。また、若手研究者の採用や、研究者間の交流の促進が望まれる。
- ・研究課題の中から、最重要課題を選定し、5カ年計画を立て、年度ごとに達成目標を決めて取り組む必要がある。なお、選定には外部の意見を盛り込むことが望ましい。また、地域社会との連携をより密接にし、そのニーズにこたえるよう期待する。

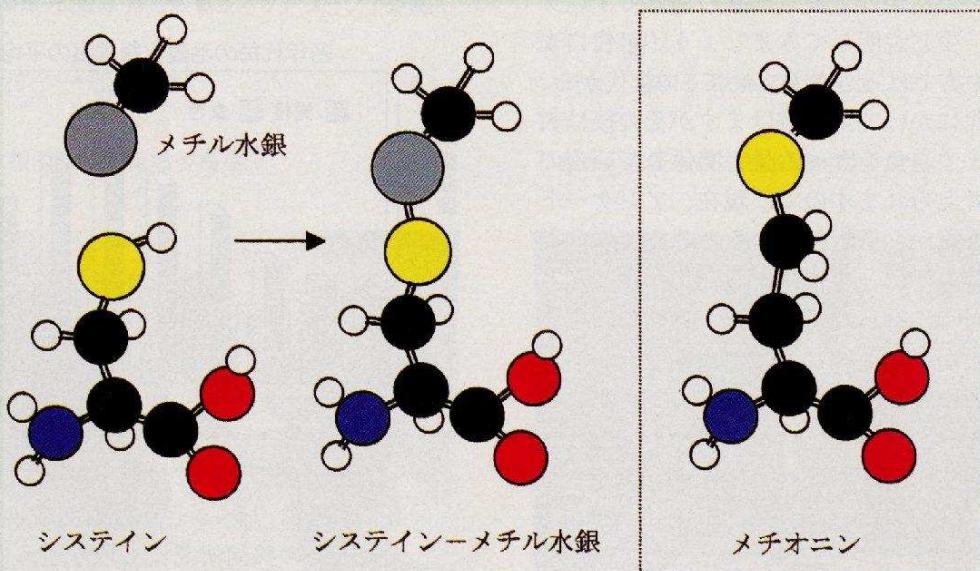
## メチル水銀が脳や胎児に取り込まれるしくみ

私たちの体の中に取込まれたメチル水銀は血管を通って体中をかけめぐっています。しかし、脳や胎児には血管との間に特殊なバリアーがあり、普通、血液中の有害化学物質はほとんど入ることができません。専門的にはこのバリアーを「血液-脳関門」、「胎盤関門」といいます。しかし、メチル水銀は巧妙なしくみでこのバリアーを通過します。脳や胎児にも当然ですが、栄養素は必要です。それで、これらのバリアーには、栄養素を入れるゲート(通路)があります。このゲートからはアミノ酸やブドウ糖といった必要成分が取込まれていきます。さて、メチル水銀です。話

水  
銀  
の  
は  
な  
し  
その6

はやや専門的になりますが、下の絵を見ながら説明しましょう。血液中のメチル水銀の一部は、20種類あるアミノ酸のうち、システインというアミノ酸に結合します。システインに結合したメチル水銀の形は、同じアミノ酸であるメチオニン(右端)にとてもよく似ています。ゲートはアミノ酸の形を認識して通します。これから先は大体おわかりと思いますが、バリアーのゲートはシステインに結合したメチル水銀をメチオニンと間違えて通すのです。つまり、メチル水銀は必須栄養素のふりをして、堂々と脳や胎児に入ってしまうといえます。

(A.Y.)



## 人事異動

### 【転出】

(平成12年1月1日)

田村 憲治

国立環境研究所環境健康部環境疫学研究室主任研究員  
(国際・総合研究部社会科学院長)

&lt;併任&gt; 国際・総合研究部社会科学院長

(平成12年4月1日)

鈴 雄藏

国立療養所神奈川病院事務部医事課医事班長 (国際・総合研究部国際・情報室長)

猪岡 貴光

長官官房総務課国会係 (総務課経理係)

(平成12年7月1日)

山下 哲也

九州財務局理財部主計第一課調査官 (総務課経理係長)

田村 憲治

&lt;併任解除&gt; (国際・総合研究部社会科学院長)

### 【転入】

(平成12年4月1日)

仁科 英俊

総務課経理係 (企画調整局企画調整課庶務文書係)

(平成12年4月22日)

佐藤 邦子

国際・総合研究部国際・情報室長 (地球環境部企画課海外広報専門官)

(平成12年7月1日)

中野 剛

総務課経理係長 (環境保健部特殊疾病対策室企画係長)

蜂谷 紀之

国際・総合研究部社会科学院長 (秋田大学助手医学部)

### 編集後記

2000年という節目の年を迎えて最初の発行となりました。センターでも、今年に入ってから新しい廃液処理施設の竣工や情報センターの着工、外部評価の開始など、新しい動きが次々と起こっています。また、来年の水銀国際会議の準備もいよいよ本格化してきました。何かと市民の皆様にご協力をお願いすることもあるかと思いますが、そのときはよろしくお願いいたします。これからも、皆様にホットな話題をお伝えしてゆきたいと考えています。(M.Y.)

編集委員: 衛藤光明、藤田佳久、松本美由紀、保田叔昭、安武 章、山口雅子

国水研ホームページ <http://www.nimr.go.jp>

発行所: 環境庁 国立水俣病総合研究センター

〒867-0008 熊本県水俣市浜4058-18 TEL 0966-63-3111 FAX 0966-61-1145

発行日: 平成12年8月1日

発行責任者: 国水研だより編集委員会

※この用紙は再生紙を使用しています